

第 11 回宮崎県中部流砂系検討委員会の開催

宮崎県中部の大淀川～耳川間の河川流域及びこれらに面した海岸における土砂に関する様々な課題を明らかにするとともに、これらの解決に向けた総合的な取り組み及び特に山地から河川における改善策や目標を検討することを目的として、宮崎県中部流砂系検討委員会を設置しています。

今回は、大淀川水系総合土砂管理計画(素案)に対して意見を伺うため、下記のとおり開催します。

記

1. 日 時:令和8年3月25日(水) 15:00～17:00
2. 会議場所:国土交通省宮崎河川国道事務所 別館3階会議室
(宮崎市大工2丁目39番地)
3. 開催形式:対面(WEB 併用)
4. 内 容:委員会の目的、これまでの検討経緯等
大淀川水系総合土砂管理計画(素案)について
今後のスケジュールについて

※ 会場の都合上、報道関係者以外の方は傍聴出来ません。

※ 当日の配付資料等は後日、事務所ホームページに掲載する予定です。

問い合わせ先:

○国土交通省 九州地方整備局 宮崎河川国道事務所 TEL : 0985-24-8221 (代表)

技術副所長 横山 京人 流域治水課長 山崎 幸栄

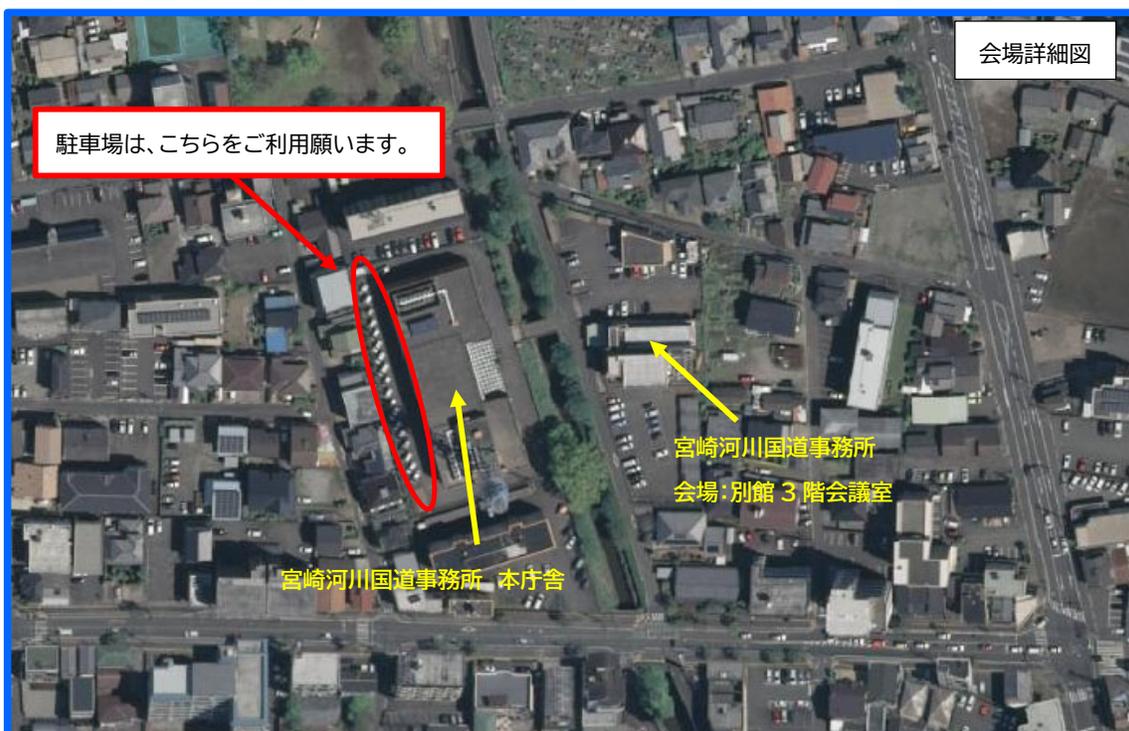
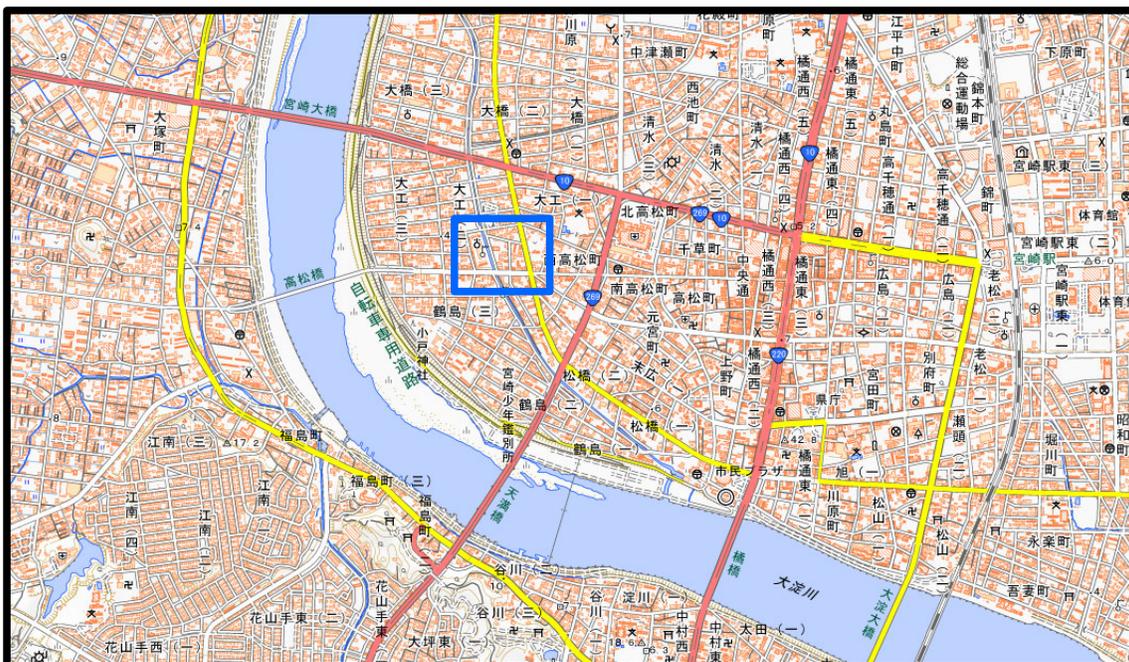
○宮崎県 県土整備部 河川課 TEL : 0985-26-7186

課長補佐 四位 和久 計画調査担当主幹 湯川 大介

第11回宮崎県中部流砂系検討委員会

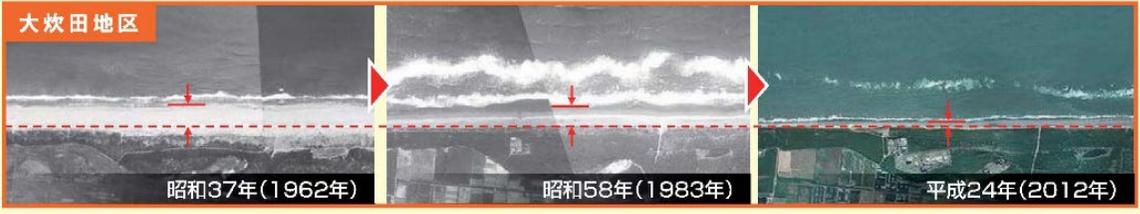
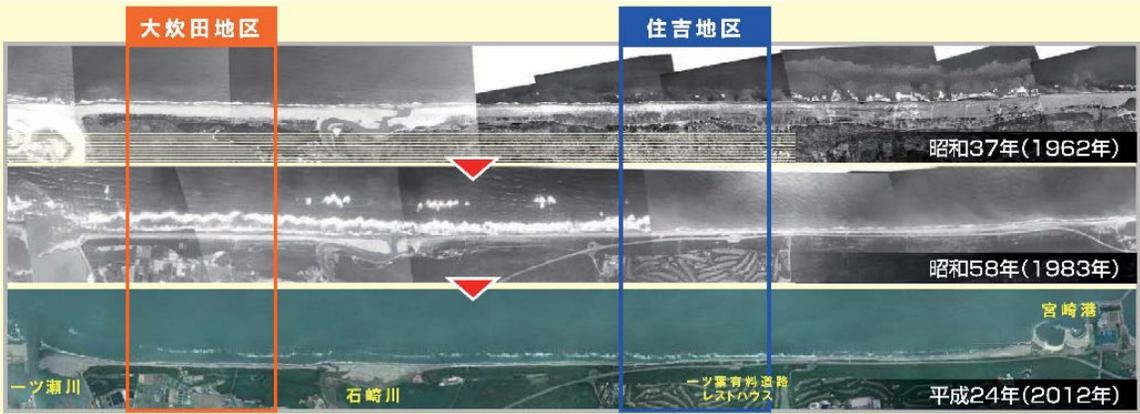
日時:令和 8年 3月 25日(水)

15:00~17:00 宮崎河川国道事務所 (別館 3階会議室)



宮崎県中部流砂系検討委員会の目的

- かつて直線の砂浜が続いていた一ツ瀬川～宮崎港間の海岸は、昭和50年代頃より海岸侵食が顕著になっている。この要因は、短期的には高波浪の影響があるが、長期的にはダム建設等により海岸に供給される土砂量が減少したこと等が挙げられる。
- このような状況を踏まえ、宮崎県中部の大淀川～耳川間の河川流域及びこれらに面した海岸における土砂に関する様々な課題を明らかにするとともに、これらの解決に向けた総合的な取り組み及び特に山地から河川における改善策や目標を検討することを目的とする「宮崎県中部流砂系検討委員会」が平成19年10月に設立。



宮崎県中部流砂系：大淀川、一ツ瀬川、小丸川、耳川間の河川流域及びこれらに面した海岸を含んだ土砂の移動領域。